

今の日本には、大東亜戦争当時の日本人のやったことの一切を一方的に悪かったと断罪する偏った歴史観を持った「リベラリスト」気取りの「文化人モドキ」がたくさんいます。

特に、ジャーナリストや評論家に多いように思いますが、彼、又は彼女たちが過去の事実をどこまで認知しているのでしょうか、甚（はなは）だ疑問に思います。

過去の日本のやったことには、功罪が錯綜（さくそう）しています。功を無視して罪だけを暴き立てる自虐は、中国や韓国などを益するだけの売国奴的な行為だと言えます。

・・・自力では近代国家に脱皮できなかったばかりか、内乱で治安の乱れていた朝鮮の世情を安定させ、社会の基盤が固まるようにしたのは、日本の功によるところが大なのですが、彼の文化人モドキたちの頭は、こうした事実には思いが及んでいません。と言うより知らないのかもしれませんが。

朝鮮の道路や鉄道などのインフラを整備したり、学校制度を設けて教育水準を高めたり、遅れていた衛生事情を向上させたりしたのは日本人なのです。

もちろん、朝鮮を支配下に置いていた日本は、自国の国益を主眼にした治世をしていましたから余り威張れませんが、ある意味では日本人は朝鮮人の恩人とも言えるのです。

日露戦争に勝ってロシアの極東進出の野望を打ち砕いてしまった日本人を見て、欧米の列強の植民地にされて虐（しいた）げられていた国の人たちは、黄色人種でも白色人種に勝てることを知りました。

破れはしましたが大東亜戦争では、欧米を相手に互角の戦いをしてる日本人を見て勇気づけられもしました。

敵わぬものとして奴隷のように唯々諾々（いいだくだく）と白人の意に従っていた彼らに、日本人は独立の気概を与えたのです。

フランスの植民地だったベトナムがそのくびきを逃れて独立する端緒を開いたのは日本でした。・・・こうした理論を開陳しますと、世論を牛耳（ぎゅうじ）っている文化人モドキたちに、たちどころに戦争を美化しようとする軍国主義者、あるいは国粹主義者のレッテルを張られてしまいます。悲しいことです。

過日、ウズベキスタンを旅したことがあります。ソビエト連邦に組み込まれて搾取（さくしゅ）を受けていたこの国の人は、小さな島国の日本が、日露戦争で白色人種の大国、ソ連を打ち負かしてしまったことに未だに快哉（かいさい）を叫んでいます。

レストランで居合わせた何処か飄々（ひょうひょう）とした感じのするオッサンは、横暴なソ連を破った日本人を礼賛して止みませんでした。

戦争を知らない若者も含め、ウズベキスタンの人たちの多くは、黄色人種でありながら白色人種の大国と対峙（たいじ）して一步も譲らなかつた日本人を尊敬のまなざしで見ます。

その一方で、経済進出が著しいのにもかかわらず、韓国人たちは、ガツガツした狡すからくてセコイ民族と冷たい目で見られています。日本の文化人モドキは、こうした事実をどのように見るのでしょうか。

物事には表と裏があります。表ばかりでなく、裏を含めた広範な事実をもとにして公正な判断を下し、正しい歴史観に基づいた毅然（きぜん）とした態度で中国や韓国に対処していかなければならないと思います。

従軍慰安婦と聞くと「日本軍によって性の奴隷にされた可哀想な女性たち」をイメージする人が大半だと思います。

しかし、彼女たちのほとんどが、お金をもらって性的なサービス＝慰安行為＝売春をしていた、いわゆる娼婦、売春婦だったのです。売春防止法の施行（1958年）されるまでは、日本には公に営業を許された娼婦＝公娼がいました。今でも、ドイツやオランダには公娼がいます。

それでも彼女たちを政府の手で性の奴隷にされたと言う人は一人もいません。

韓国人の言う慰安婦のほとんどは、親に売られてしまった貧しい家の娘たちで、中には、自身の借金や親の借金を背負っているために、苦界から抜け出せないでいる人もいました。・・・彼女たちの貧しさが故の境遇はまことに気の毒ではありましたが、それは日本人の責任ではありません。

・・・大卒の初任給が「月収約 20 円」だった時代にその 15 倍に当たる「月収 300 円」以上で慰安婦が公募されている当時の新聞の切り抜き広告を見たことがあります。・・・彼女たちは、身を売り物にして日本兵相手の営業をし、慰安所から法外も無い大金をもらっていたのです。

中には、女衞（ぜげん）の甘言に乗せられて、本人が望まないのに日本の兵士の慰安の相手にさせられてしまった人もいたでしょう。あるいは軍の関係者に連行されて強制的に慰安の仕事をさせられた人がいたかも知れません。

そのような人達が日本人に謝罪と賠償を求めるのは当然で、道義に叶（かな）ったことでもあり、情情的にも理解できます。

しかし、売春婦として荒稼（あらかせ）ぎをしていた人までが、性の犠牲者として名乗り出たり、担（かつ）ぎ出されてきて、日本へ謝罪や賠償を求めるのは筋違いで、道義を逸脱（いつだつ）した行為と言えます。

軍は、兵士による地元の女性への性犯罪のために地域の住民が自軍への反感や敵対感情を募らせ、人心が離反してしまうのを極度に恐れていました。

そのため、慰安所の設営には熱心で、民間の施設の建設や運営に便宜を図ったりして、慰安婦を積極的に受け入れていました。・・・戦地での兵士の性の欲望の捌（は）け口を作って、戦争で心の荒んだ兵士たちによる性犯罪の防止に腐心（ふしん）していたのです。

どの時代のどこの国の軍隊にも慰安婦はつきもので、これは、日本の軍隊に限ったことではありません。

事あるごとに大東亜戦争の時の従軍慰安婦を云々するあの韓国ですら朝鮮戦争の時には、慰安所を設け、韓国軍はもとより駐留していたアメリカ軍兵士や連合国の兵士を相手にする慰安婦を置いていました。

・・・2009 年 1 月 7 日付の『ニューヨークタイムズ』には、米兵相手の慰安婦だったという女性の次のような談話が掲載されていたそうです。

「韓国政府は米軍相手の大手売春あっせん業者でした。政府は GI 相手にできるだけたくさん商売するよう熱心に奨励し、私たちが“ドルを稼ぐ愛国者”として賞賛したのです」

ややもすると性の問題をタブー視し、避けて通ろうとする傾向があります。日本人は、韓国人から、従軍慰安婦と言われるとそれだけで、腰が引けてしまうようです。

・・・慰安婦のことを針小棒大（はりしょうぼうだい）にして言いたてる彼らから逃げないで、投げかけられた問題を真正面から受け止め、理非曲直（りひきよくちよく）をはっきりさせるべきだと思います。

村山談話なるものがあります。その中に「いわゆる従軍慰安婦問題は、女性の名誉と尊厳を深く傷つけた問題であり、私はこの機会に、改めて、心からの深い反省とお詫びの気持ちを申し上げたいと思います」と言うくだりがあります。舌足らずで、韓国人に言質（げんち）を与えてしまうといふ話です。

彼は、日本兵を相手に営業し、荒稼ぎをしていた売春婦たちにも反省すると言うのでしょうか。一体彼女たちに何を謝罪するつもりなのでしょうか。

一国の宰相が軽々しく口にすべき言葉ではありません。

こんな人がいるから韓国人に付け入れられてしまうのです。

・・・ご存知だと思いますが、社会党の党主だった彼は、革新を唱えながら保守の自民党にすり寄って総理大臣の地位を手に入れました。

・・・彼は、知る人ぞ知る変節漢、自身の栄達のために自民党に次ぐ大政党だった社会党を凋落、衰退させて解党に追い込んでしまった張本人なのです。節操（せつそう）のない彼は、国を売るような言葉を口にしても平気なんでしょう。

続く